

蔵王山の火山活動解説資料

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

< 噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）が継続 >

蔵王山では、本日（9 月 22 日）10 時 41 分頃に火山性微動が発生しました。微動の発生後に地震の増加はみられず、火山活動に活発化の兆候は認められません。

2013 年から 2015 年にかけて、火山活動の高まりがみられました。その後も火山性微動が時々発生していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。

噴火予報（噴火警戒レベル 1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・地震や微動の発生状況（図 1 ～ 3）

本日（9 月 22 日）10 時 41 分頃に継続時間が約 3 分、最大振幅（上下成分）9.2 $\mu\text{m/s}$ の火山性微動が発生しました。火山性微動が観測されたのは、8 月 22 日以来です。

火山性地震は火山性微動発生前に 6 回発生しました。その後、火山性地震の増加はみられません。

・地殻変動の状況（図 2、3、5）

傾斜計¹⁾では今回の微動に対応する変動は見られませんでした。

GNSS²⁾連続観測では、2014 年 10 月以降、山体付近のわずかな膨張を示す地殻変動が観測されていましたが、2015 年 6 月以降膨張を示す変化は見られていません。

・噴気など表面現象の状況

遠刈田温泉（山頂の東約 13km）及び上山金谷（山頂の西約 13km）に設置している遠望カメラと刈田岳（御釜の南約 1 km）に設置している火口カメラでは、天候不良のため御釜や想定火口域の状況は不明です。

1) 火山活動による山体の傾きを精密に観測する機器。火山体直下へのマグマの貫入等により変化が観測されることがあります。

2) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学のデータを利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図 50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平 26 情使、第 578 号）

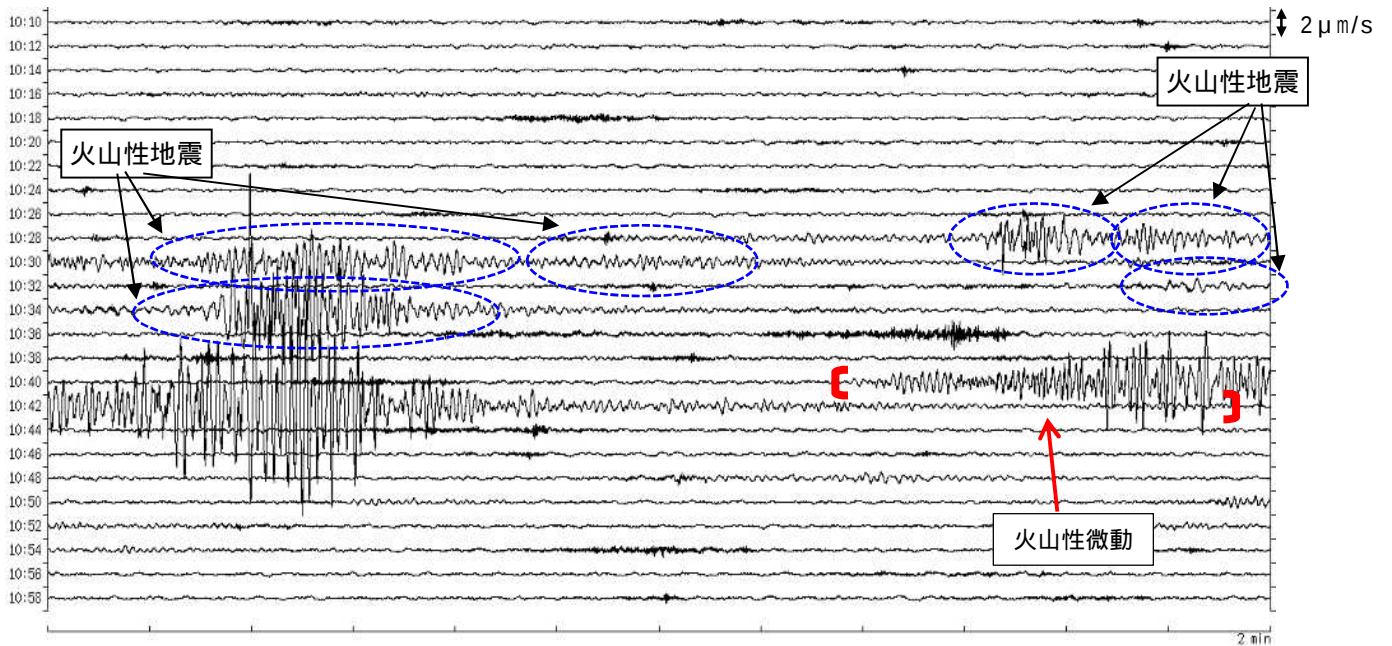


図 1 蔵王山 坊平観測点（上下成分）での火山性微動の発生状況

(2016 年 9 月 22 日 10 時 10 分～11 時 00 分)

- ・ [] は火山性微動を示します。最大振幅は $9.2 \mu\text{m/s}$ 、継続時間は約 3 分です。

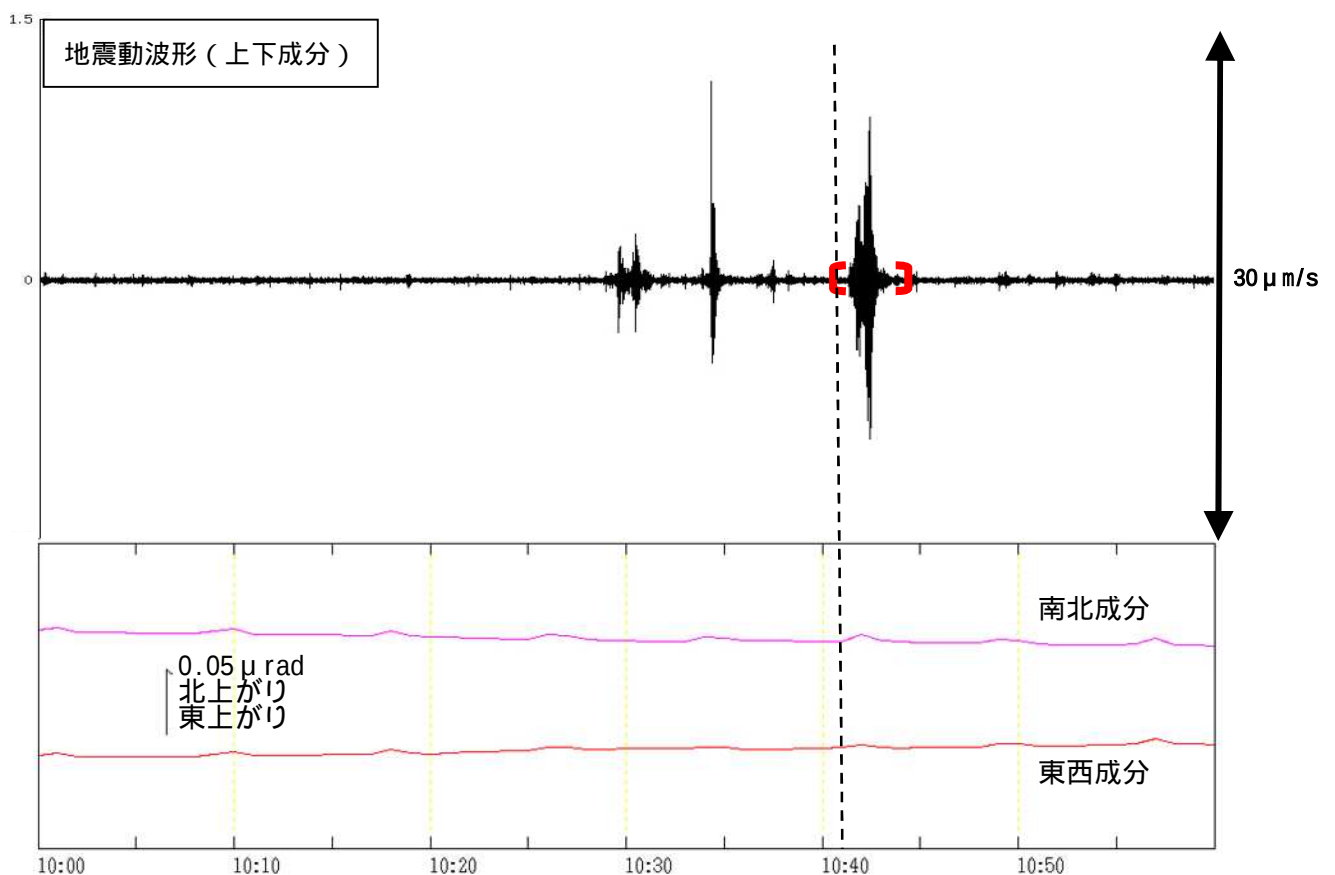


図 2 蔵王山 坊平観測点での火山性微動波形および傾斜変動

(2016 年 9 月 22 日 10 時 00 分～11 時 00 分)

- ・ 黒破線は火山性微動の発生時を示します。最大振幅は $9.2 \mu\text{m/s}$ 、継続時間は約 3 分です。
- ・ 傾斜計では今回の微動に対応する変動は見られません。

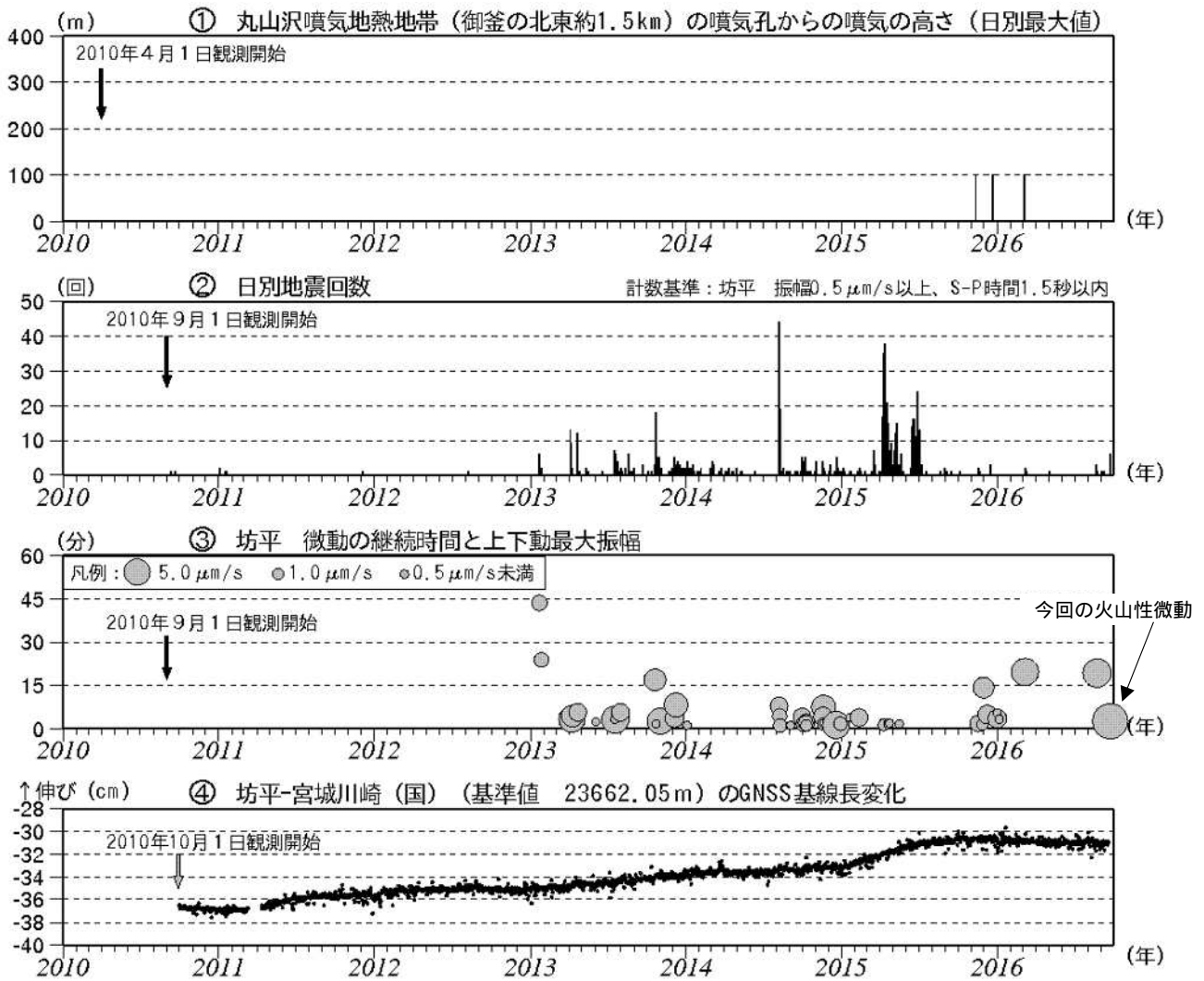


図3 蔵王山 火山活動経過図（2010年1月～2016年9月22日）

- ・ 回数は速報値で精査後修正される可能性があります。
- ・ は図5のGNSS基線に対応しています。

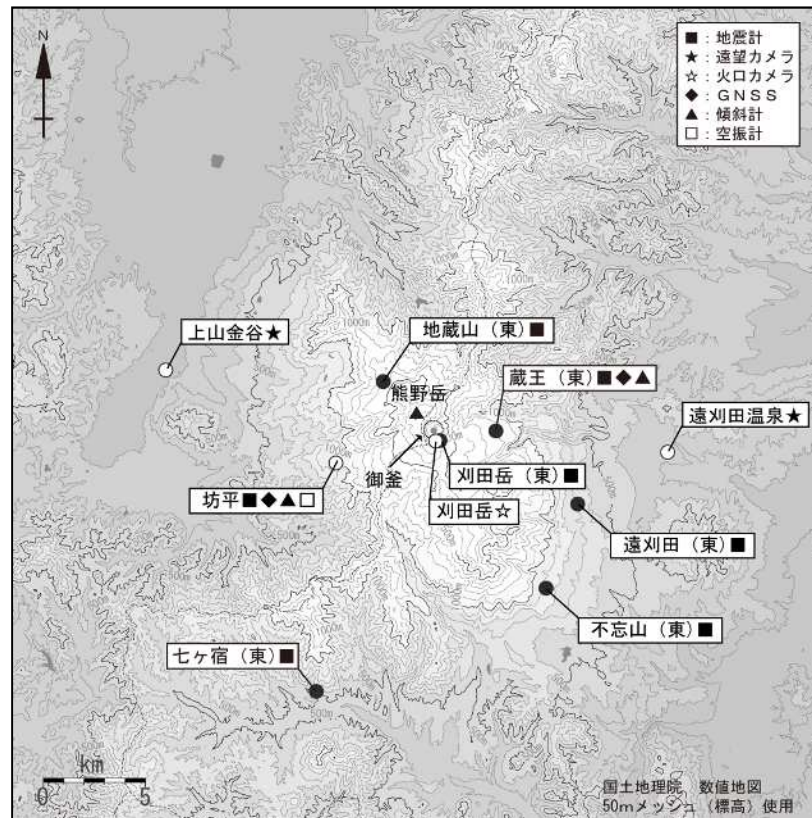


図 4 蔵王山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(東) : 東北大学

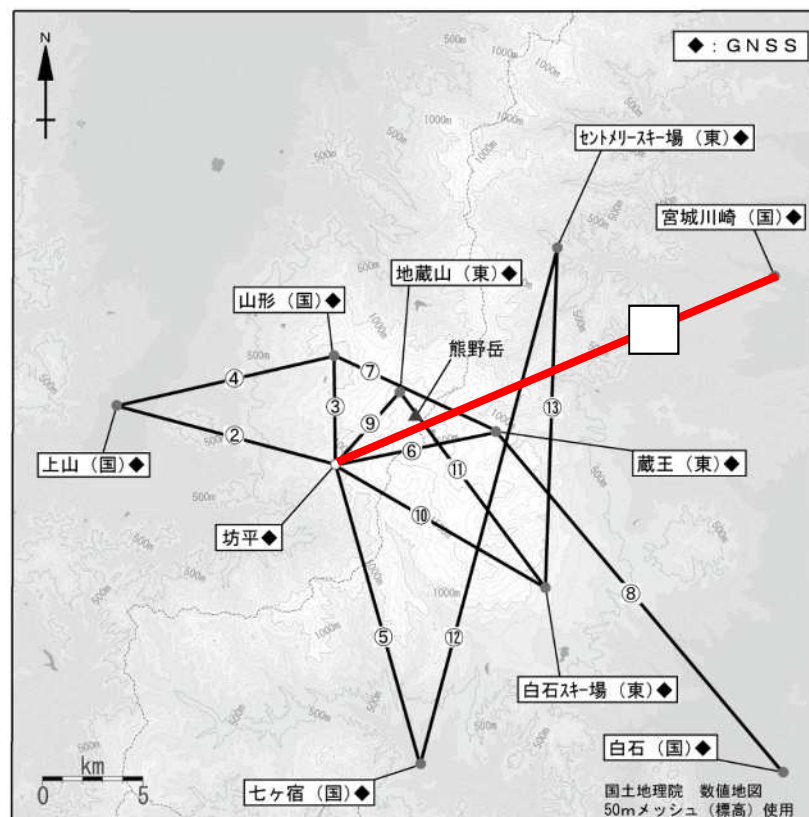


図 5 蔵王山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国) : 国土地理院 (東) : 東北大学